

## 南大東島で最近新たに記録された鳥類について

嵩 原 建 二<sup>(1)</sup>・姉 崎 悟<sup>(2)</sup>・高 木 昌 興<sup>(3)</sup>  
奥 土 晴 夫<sup>(4)</sup>・金 川 雅 之<sup>(5)</sup>

New Records of the Birds in Minami Daito-jima Island, the Nansei-Shoto

Kenji Takehara, Satoru Anezaki,  
Masaoki Takagi, Haruo Okudo and Masayuki Knagawa

### 1. はじめに

大東諸島は沖縄島の東、約400kmの洋上に位置し（図1）、北大東島と南大東島及びさらに南にある沖大東島の3島からなる。その中で南大東島は島面積が30.57km<sup>2</sup>と大東諸島最大の島であり、地質的には島全体が琉球石灰岩で覆われている。南大東島は中央部がへこんだようなすり鉢状の地形をなし、その中央部には池が40以上も散在して、島面積の5.4% (1,656,579m<sup>2</sup>) はこうした池沼や湿地が占めている。また、島面積の約60%は農耕地で、そのほとんどがサトウキビの耕作地である。

南大東島で記録された鳥類については、これまで古くはKuroda (1925) による標本に基づく鳥類記録や、黒田 (1935)、池原 (1973)、日本野鳥の会 (1975) などの報告が見られる。また、琉球新報社編 (1983)、McWhirter et al (1996)、嵩原ら (1996) などに断片的な分布記録が散見でき、さらに南大東村誌 (1988) の中に91種の鳥類目録が作成されている。最近では大沢・大沢 (1990)、大沢・大沢 (1995) により、これまでの鳥類記録がまとめられ、南大東島における鳥類の記録を123種としている。なお、1995年には、南大東島の大池を中心とする湿地の鳥類調査が実施され、67種の鳥類が記録されている（沖縄県自然保護課 1996）。また、大沢・大沢 (1997) は別に鳥類目録を作成し、137種の鳥類を記録している。

筆者らは1995年春季から数回にわたり南大東島で鳥類調査を行い、鳥類に関する若干の知見を得ることができ、新たな目撃記録を追加して鳥類目録作成を試みた。

本報告を行うに当たり、現地調査に協力していただき、かつ貴重な有益な情報を与えていただいた県立伊良部高校の久貝勝盛氏、県立開邦高校の瀬名波任氏、さらに南大東島在

(1) 沖縄県立博物館 (2) 愛知県春日井市在住 (3) 大阪市立大学理学部 (4) 南大東中学校

(5) 南大東村教育委員会

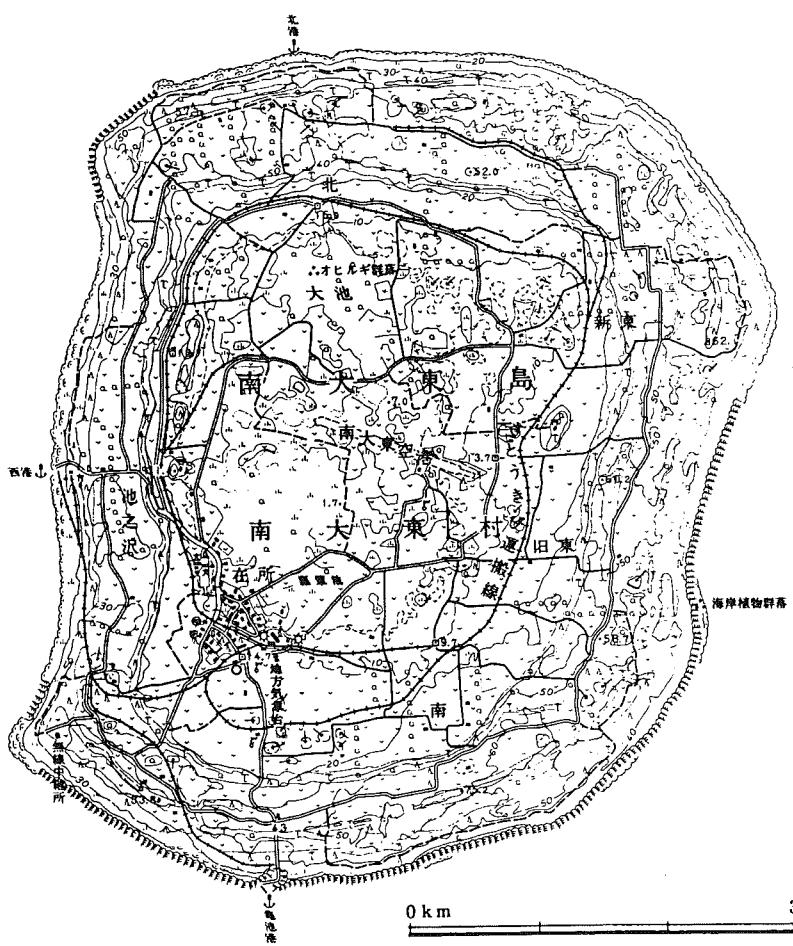
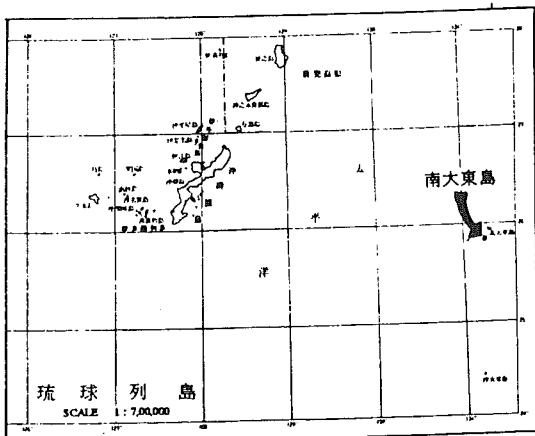


図1. 南大東島の位置

住で沖縄県文化財保護指導委員の西浜良修氏に厚くお礼申し上げます。

## 2. 調査概要と調査方法

調査は表1に示したように、1995年年3月から1998年9月までの期間に現地調査を9回(度)にわたって実施した。調査は島全体をその調査範囲とし、調査時間や時期を定めずには不定期に実施した。また、特に調査ルートも定めず、車両を使って島の様々な場所を走りまわり、目撃される野鳥を記録した。特に島中央部に散在する池や湿地、森林地域などは重点的に調査し、大東神社、大池、瓢箪池、南大東空港、新東の山下家近くの農業用ダム、磯崎家近くの農業用ダム、南の牧場周辺などは頻繁に調査を行った。確認の際には、10倍の双眼鏡と20倍の望遠鏡も活用した。なお南大東島に居住する筆者らは、常時鳥類調査を実施した。

また、これまでに記録のない鳥類については、調査期間外の記録であっても活用した。

表1. 南大東島における鳥類調査概要

調査期日	調査期間(日)	調査者
1995/3/12-3/17	6	姉崎悟
1995/12/16-12/19	4	嵩原建二・久貝勝盛・瀬名波任
1996/12/7-12/9	3	嵩原建二・金川雅之
1997/2/1-2/2	3	嵩原建二・金川雅之
1997/4/19-4/22	4	姉崎悟
1998/3/6-3/9	3	嵩原建二・奥土晴夫・金川雅之・西浜良修
1998/1/28-2/7	11	高木昌興
1998/4/23-5/6	14	高木昌興
1998/9/12-9/14	3	嵩原建二・奥土晴夫・金川雅之・西浜良修

## 3. 調査の結果と考察

### (1) 南大東島で記録された鳥類

調査期間中にこれまでに報告されていないハジロカツツブリ *Podiceps nigricollis nigricollis*、コクガン *Branta bernicla orientalis*、クロツラヘラサギ *Platalea minor*、アカガシラサギ *Ardeola bacchus*、ムジセッカ *Phylloscopus fuscatus fuscatus*など希な飛来種を含む21種の鳥類の生息が確認された。したがって、これまでの鳥類記録に追加すると、巻末の「南大東島の鳥類目録」に示したように、14目43科166種(亜種含む)の鳥類が、南大東島で記録されていることになるものと思われる。

その内訳を便宜的に生息状況から区分して示すと、カツツブリ *Podiceps ruficollis*

*Kunikyonis*、カワセミ *Alcedo atthis bengalensis*、マガモ *Anas platyrhynchos platyrhynchos*、ダイトウコノハズク *Otus elegans interpositus*などの留鳥は、合計22種であった。しかしながら、その内リュウキュウカラスバト *Columba jouyi*、ダイトウヤマガラ *Parus varius orii*、ダイトウウグイス *Cettia diphone restrictus*、ダイトウミソサザイ *Troglodytes troglodytes orii*、ハシブトガラス *Corvus macrorhynchos japonensis*の5種は現在では絶滅とされる。また、ダイトウノスリ *Buteo buteo oshiroi*の生息状況についても、最近の繁殖例が見られず現状は不明である。さらにこれまでリュウキュウウグイス *Cettia diphone riukiensis*は、沖縄島から移入されたとされている（池原 1973）が、沖縄県内には冬季に飛来するウグイスの存在と在来のウグイスの一種が生息することが、最近の研究で指摘されているので留鳥であるかどうかは不明である。

一方、夏鳥としては、これまでセグロアジサシ *Sterna fuscata nubilosa* とオオアジサシ *Thalasseus bergii cristatus* の記録が見られたが、1998年9月にアカショウビン *Halcyon coromanda major* の飛来が確認され、夏鳥として渡来する種は3種と思われる。

さらに旅鳥や冬鳥としては、カンムリカツブリ *Podiceps cristatus cristatus*、オオバン *Fulica atra atra*、オカヨシガモ *Anas strepera strepera*など119種が確認された。また、希な渡り鳥（迷鳥）としては、コクガン *Branta bernicla orientalis*、クロツラヘラサギ *Platalea minor*など21種が確認された。したがって、記録された鳥類の大部分は、夏季や冬季に飛来する渡り鳥が主体であり、南大東島は沖縄島から約400kmも離れている海洋島でありながら、渡り鳥が多く渡来することが理解され、鳥の渡るコースとして重要な位置を占めていることが伺える。しかしながら、その個々の鳥類に関する具体的な渡りのルート解明は不十分で、今後標識調査（バッティング）や衛星を利用した渡り鳥の飛来ルートの解明が望まれる。

以下に保護すべき種や重要な確認記録として特筆に値すると思われる鳥類を取りあげ、その生息状況等について述べる。

## (2) 保護すべき種や特筆すべき鳥類の確認記録

### 1) リュウキュウカツブリ *Tachybaptus ruficollis Kunikyonis*

1997年3月における調査では、滞在期間中毎日観察し、いずれの期間も雛を確認した。白色型は1995年3月16日に3羽、1997年4月20日に4羽を確認しており、1997年の1羽には、灰色みを帯びた雛が1羽ついていた。

本種は沖縄県自然保護課編（1996）によって示された「沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物」（沖縄版レッドデータブック）の中で希少種に指定されている種である

が、南大東島では白色型が長期に渡って複数個体生息しており、本種の遺伝的な変異を考える上で興味深いものがある。

2) ハジロカツブリ *Podiceps nigricollis nigricollis* (写真1)

1998年11月24日に在所近くの農業用ダム（磯崎家近く）で1個体を確認した。おそらくこの記録が大東諸島初記録であろう。

3) クロツラヘラサギ *Platalea minor* (写真2)

1998年2月2日に潮水池の岸辺で1個体を初確認し、本個体は1998年4月25日まで確認できた。その後5月6日まで調査したが姿を見つけることはできなかった。本個体は1997年12月8日頃から目撃されているので、およそ4ヶ月以上にわたり南大東島で越冬していたものと思われる。本種はまれな冬鳥として県内各地に飛来するが、大東諸島ではこの記録が初確認である。

4) コクガン *Branta bernicla orientalis* (写真3)

1998年3月6日に大池で5個体を確認したが、本個体は1998年3月3日頃から飛来が確認されている。本種は国の天然記念物にも指定されている貴重種であるが、大東諸島での記録はこれが最初であろう。

5) トビ *Milvus migrans lineatus*

1995年3月12日から15日に集落や農耕地上空を飛ぶ2羽を観察した。島民の話によると、本種は鶲の雛をよく襲うことがあるという。本種は数少ない冬鳥としての渡来と思われる。

6) ノスリ *Buteo buteo*

1997年4月22日に淡水池付近で2羽を観察した。はじめ1羽が東から西に向かって比較的低空を直飛していたが、大池付近でもう1羽が現れると、近距離でそれぞれ帆翔をはじめ、少しづつ西に流れていき、やがて見失った。ノスリらしき鳥影は4月20日から21日にも各1羽見ており、いずれも低空を直飛していた。

なお、1998年1月25日に2個体、2月2日に3個体を空港付近でも同時確認している。

大東諸島には亜種ダイトウノスリ *Buteo buteo oshiroi* が生息しているとされている。一方、沖縄県内各地には冬鳥として、ふつうにノスリ *Buteo buteo japonicus* が飛来してくるが、ダイトウノスリとノスリの飛翔中の区別は明瞭ではない。したがって、今回目撃された個体がダイトウノスリかどうかの確認は困難と思われるが、目撃された個体はノスリとした。ダイトウノスリは近年における繁殖確認がなく、生息現状は不明なように思える。

7) ハヤブサ *Falco peregrinus*

1997年4月20日に字南（地名）で、南西方向に向かって飛翔する1羽を観察した。

また、1998年1月29日に日の丸山展望台付近で1個体が確認された。

本種は大東諸島ではまれな冬鳥と思われる。

8) オオソリハシシギ *Limosa lapponica*

1997年4月22日に大池近くの水溜まりで夏羽1羽を観察した。この確認が大東諸島での初めての目撃例と思われ、おそらく旅鳥としての渡来であろう。

9) タゲリ *Vanellus vanellus* (写真4)

1998年3月7日に南の牧草地で9個体を確認した。本種は数少ない冬鳥として、県内各地に飛来するが、南大東島では再認記録である。

10) セイタカシギ *Himantopus himantopus himantopus*

1991年1月28日に新東で1個体確認し、その後、1998年9月12日に月見池南側の農地と新東の農業用ダム（山下家近く）で、合計8個体を確認した。おそらく、南大東島では旅鳥としての飛来であろう。

11) ツバメチドリ *Glareola maldivarum* (写真5)

筆者らは1997年4月21日に新空港で1羽（羽色不明）、旧空港東側の耕地で夏羽3羽を観察した。旧空港で見られた個体は、耕地で身を隠し、車が来なくなると、路上で虫をついばんでいた。おそらく、この観察が大東諸島初記録と思われ、数少ない旅鳥としての渡来と思われる。

12) イワツバメ *Delichon urbica dasypus*

大東諸島では、本種の確認記録はなかったが、1997年4月20日から21日に10羽前後を観察した。主に西港近くのキャンプ場付近の松林上空に見られ、池之沢南部でも1羽単位で観察した。おそらく本種は大東諸島では旅鳥だと考えられる。

13) ダイトウコノハズク *Otus elegans interpositus* (写真6)

1995年3月14日に字南（地名）で、1997年4月19から21日に大東神社で、それぞれ鳴き声を確認した。1997年4月21日には、幼鳥のものと思われる「キシャッ！」という鳴き声を数回聞いたので、繁殖している可能性はきわめて高い。

本種は大東諸島特産の亜種で、大東神社や内幕（うちはぐ）、海岸林などまとまつた形で残る森林地域に生息している。しかしながら、1998年3月7日の調査では、最高で6個体が確認できたが、そう個体数が多いとは思われない。嵩原ら（1996）の指摘のように、生息地の減少や餌動物の農薬汚染等、本種の生息実態には厳しいものがあるようと思われ、何らかの保護策を検討すべきであろう。

### (3) 南大東島で確認された貴重種

ここで扱う貴重種とは、天然記念物の指定種、環境庁編（1991）によって示された「日本の絶滅のおそれのある野生生物」（日本版レッドデータブック以下 NRDB と略記）や沖縄県自然保護課編（1996）の「沖縄の絶滅のおそれのある野生生物」（沖縄版レッドデータブック以下 ONRDB と略記）に登載され、保護すべき種である絶滅危惧種、危急種、希少種などをその範疇とした。

その生息状況をまとめると表2に示したように27種の貴重種が確認された。したがって、南大東島はこれら貴重種の生息地や飛来地となっており、その生息地の保全を図ることが重要であろう。

表2. 南大東島で確認された貴重種

種名	国指定 天然記念物	NRDB該当種			ORDB該当種		
		絶滅危惧種	危急種	希少種	絶滅危惧種	危急種	希少種
コクガン	◎			◎			
キンバト	◎	◎			◎		
ダイトウノスリ		◎			◎		
カンムリカツブリ			◎				
サカツラガン			◎				
ミサゴ			◎				
ハヤブサ			◎			◎	
マナヅル			◎			◎	
コアホウドリ				◎			
オオヨシゴイ				◎			
カラシラサギ				◎			
チュウサギ				◎			
ヘラサギ				◎			◎
クロツラヘラサギ				◎			
オシドリ				◎			
ハイタカ				◎			
アカアシシギ				◎			
ホウロクシギ				◎			
オオジシギ				◎			
セイタカシギ				◎			
ツバメチドリ				◎			
リュウキュウヨシゴイ					◎		
カワセミ					◎		
オオバン					◎		
リュウキュウヒクイナ					◎		
シロチドリ					◎		
カツブリ					◎		

備考：南大東島における絶滅種：リュウキュウカラスバト、ダイトウミソサザイ、ダイトウグイス、ダイトウヤマガラ

〔引用文献〕

- Birder 編集部. 1997. 1996年日本に舞い降りた珍鳥たち. Birder 11 (6):44-49.
- D. McWhirter, Hiroshi Ikenaga, Himaru Iozawa, Mamoru Shoyama and Kenji Takehara 1996. A Check-list of the Birds of Okinawa Prefecture with Notes on Recent Status including Hypothetical Records. Bulletin of Okinawa Prefectural Museum 22:33-152.
- 池原貞雄 1973. 大東諸島の陸産脊椎動物. 大東島天然記念物特別調査報告, 52-63. 文化庁.
- 黒田長禮 1935. 大東諸島の鳥類に就いて. 植物及び動物. 3 (7):129-130.
- Kuroda Nagamichi 1925. A contribution to the knowledge of the Avifauna of the Riukiu Islands and the vicinity, Published by the author. 293pp.
- 清樓幸保 1978. 増補改訂版 日本鳥類大図鑑II 講談社. 東京
- 南大東村誌編集委員会編, 1988. 改訂南大東村誌. 南大東村役場. 1230pp.
- Mark A.Brazil 1991. The Birds of Japan. Christopher Helm A&C Black. London.
- 日本野鳥の会 1975. 大東諸島. 環境庁委託調査, 特定鳥類等調査. 270-298. 環境庁.
- 日本鳥学会目録編集委員会編. 1997. 日本産鳥類リスト. 日鳥学誌46(1):54-91.
- 大沢啓子・大沢夕志 1990. 南大東島で観察された鳥類. 山階鳥類研究所報告, 第22巻 (2) 133-137.
- 大沢夕志・大沢啓子 1995. オオコウモリの飛ぶ島, 南の島の生きもの紀行. p133 -137. 山と渓谷社.
- 大沢夕志・大沢啓子 1997. 南大東島自然ガイドブック. ボーダーインク. 64pp.
- 沖縄野鳥研究会編. 1986. 沖縄県の野鳥. 265pp.
- 沖縄県自然保護課編 1997. 特殊鳥類等生息環境調査, 伊平屋島・久米島・南大東島・北大東島湿地編. 沖縄県環境保健部. 168pp.
- 琉球新報社編 1983. 奄美・沖縄産鳥類目録. 写真集沖縄の野鳥. 誠文堂新光社. p54-62.
- 嵩原建二・久貝勝盛・大城亀信 1996. 最近(1995年4月から1996年3月)沖縄県で目撃された興味深い鳥類について(短報). 沖縄県立博物館紀要第22号. 173-178.

図版



1. ハジロカイツブリ  
*Podiceps nigricollis nigricollis*



2. クロツラヘラサギ *Platalea minor*



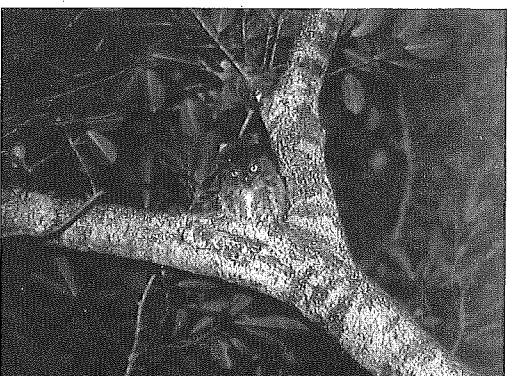
3. コクガン *Branta bernicla orientalis*



4. タゲリ *Vanellus vanellus*



5. ツバメチドリ  
*Glareola maldivarum*



6. ダイトウコノハズク  
*Otus elegans interpositus*

## 南大東島の鳥類目録

Check list of the species recorded in Mnamidaito-jima Island

R : 留鳥, S : 夏鳥, T : 旅鳥, W : 冬鳥, A : 迷鳥、絶滅 : EX

R:Resident S:Summer T:Trancient W:Winter A:Accident EX:Extinct

種名 species	状況 status
カイツブリ目 PODICIPEDIFORMES	
カイツブリ科 PODICIPITIDAE	
カンムリカイツブリ <i>Podiceps cristatus cristatus</i> (Linnaeus) ※	W
1996年12月7日. 大池. 1.	
リュウキュウカイツブリ <i>Tahyaptus ruficollis Kunikyonis</i> (Kuroda)	R (B)
ハジロカイツブリ <i>Podiceps nigricollis nigricollis</i> Brehm※	W
1998年11月24日. 在所南の農業用ダム (磯崎家近く). 1.	
ミズナギドリ目 PROCELLARIIFORMES	
アホウドリ科 Diomedeidae	
コアホウドリ <i>Diomedea immutabilis</i> Rothschild	A
ミズナギドリ科 Procellariidae	
カワリシロハラミズナギドリ <i>Pterodroma neglecta</i> (Schlegel) (1).(2)	A
アナドリ <i>Bulweria bulwerii</i> (Jardine & Selby)	A
ペリカン目 PELECANIFORMES	
ネッタイチョウ科 <i>Phaethontidae</i>	
アカオネッタイチョウ <i>Phaethon rubricauda rothschildi</i> (Mathews)(3)	A
カツオドリ科 Pelecanidae	
カツオドリ <i>Sula leucogaster plotus</i> (Forster)	A
ウ科 PHALACROCORACIDAE	

カワウ *Phalacrocorax carbo hanedae* (Kuroda) W  
 ウミウ *Phalacrocorax capillatus* (Temminck & Schlegel) ※ W  
 1996年12月7日. 大池. 4.

グンカンドリ科 Fregatidae  
 コグンカンドリ *Fregata ariel ariel* (Gray) A

コウノトリ目 CICONIIFORMES  
 サギ科 ARDEIDAE  
 ヨシゴイ *Ixobrychus sinensis sinensis* (Gmelin) R ? / W  
 オオヨシゴイ *Ixobrychus eurhythmus* (Swinhoe) A  
 リュウキュウヨシゴイ *Ixobrychus cinnamomeus* (Gmelin) R  
 ゴイサギ *Nycticorax nycticorax mycticorax* (Linnaeus) R ? / W  
 ササゴイ *Butorides striatus amurensis* (Schrenck) W  
 アカガシラサギ *Ardeola bacchus* (Bonaparte) ※ W  
 1998年10月25日. 大東神社. 1.  
 アマサギ *Bubulcus ibis coromandus* (Boddaert) T / W  
 チョウダイサギ *Egretta alba modesta* (Gray) W  
 チュウサギ *Egretta intermedia intermedia* (Wagler) W  
 コサギ *Egretta garzetta garzetta* (Linnaeus) W  
 カラシラサギ *Egretta eulophotes* (Swinhoe) (6) A  
 1996年9月22日. 1.  
 クロサギ *Egretta sacra sacra* (Gmelin) R (D)  
 アオサギ *Ardea cinerea jouyi* (Clark) W  
 ムラサキサギ *Ardea purpurea manilensis* Meyen  
 1998年3月7日. 水上ゴルフレンジ近く (ヘイ死体) 1. A (D)

トキ科 Threskiornithidae  
 ヘラサギ *Platalea leucorodia major* Temminck & Schlegel A  
 1995年12月17日. 新東の池. 1.  
 クロツラヘラサギ *Platalea minor* Temminck & Schlegel ※ A  
 1998年2月2日. 潮水池. 1.

ガンカモ目 ANSERIFORMES

ガンカモ科 ANATIDAE

コクガン <i>Branta bernicla orientalis</i>	Tugarinov	※	A/W
1998年3月6日. 大池. 5.			
サカツラガン <i>Anser cygnoides</i> (Linnaeus)			A/W
オシドリ <i>Aix galericulata</i> (Linnaeus)			W
1999年2月14日. 潮水池. 1. (♀)			
マガモ <i>Anas platyrhynchos platyrhynchos</i> Linnaeus			R/W (B)
カルガモ <i>Anas poecilorhyncha zonorhyncha</i> Swinhoe			R/W
コガモ <i>Anas crecca crecca</i> Linnaeus			W
オカヨシガモ <i>Anas strepera strepera</i> Linnaeus			W
ヒドリガモ <i>Anas penelope</i> Linnaeus			W
オナガガモ <i>Anas acuta acuta</i> Linnaeus			W
シマアジ <i>Anas crecca crecca</i> Linnaeus			W
ハシビロガモ <i>Anas clypeata</i> Linnaeus			W
ホシハジロ <i>Aythya ferina</i> (Linnaeus)			W
キンクロハジロ <i>Aythya fuligula</i> (Linnaeus)			W
スズカモ <i>Aythya marila mariloides</i> (Vigors) ※			W
1996年12月8日. 在所南の農業用ダム (磯崎家近く) 1.			W

タカ目 FALCONIFORMES

タカ科 ACCIPITRIDAE

ミサゴ <i>Pandion haliaetus haliaetus</i> (Linnaeus)		W
トビ <i>Milvus migrans lineatus</i> (Gray)		W
アカハラダカ <i>Accipiter soloensis</i> (Horsfield)		T
1998年9月下旬~10月中旬島内全域. 50羽以上		
ツミ <i>Accipiter gularis gularis</i> (Temminck & Schlegel)		R ? / W
ハイタカ <i>Accipiter nisus nisosimilis</i> (Tickell)		W
ノスリ <i>Buteo buteo japonicus</i> Temminck & Schlegel		W
ダイトウノスリ <i>Buteo buteo oshiroi</i> Kuroda		R
サシバ <i>Butastur indicus</i> (Gmelin)		W
ハイイロチュウヒ <i>Circus cyaneus cyaneus</i> (Linnaeus) ※		W
1998年1月28日. 大池. 1.		

チュウヒ <i>Circus spilonotus</i>	<i>spilonotus</i>	Kaup	W
ハヤブサ科 FALCONIDAE			
ハヤブサ <i>Falco peregrinus japonicus</i>	Gmelin		W
1997年4月20日. 南. 1.			
チョウゲンボウ <i>Falco tinnunculus interstinctus</i>	Horsfield		W
ツル目 GRUIFORMES			
ツル科 Gruidae			
マナヅル <i>Grus vipio</i>	Palls		A
クイナ科 RALLIDAE			
ヒクイナ <i>Porzana fusca erythro thorax</i>	(Temmink&Schlegel)		W?
リュウキュウヒクイナ <i>Porzana fusca phaeopyga</i>	(Stejneger)		R (B)
バン <i>Gallinula chloropus indica</i>	Blyth		R (B)
ツルクイナ <i>Gallicrex cinerea</i>	Linnaeus		W
オオバン <i>Fulica atra atra</i>	Linnaeus		W
チドリ目 CHARADRIIFORMES			
ミヤコドリ科 Haematopodidae			
ミヤコドリ <i>Haematopus ostralegus osculans</i>	Swinhoe		A
チドリ科 CHARADRLLDAE			
コチドリ <i>Charadrius dubius curonicus</i>	Gmelin		W
シロチドリ <i>Charadrius alexandrinus nihonensis</i>	Linnaeus		W/R?
1995年12月16日. 新東の農業用ダム(山下家近く). 1.			
メダイチドリ <i>Charadrius mongolus stegmanni</i>	Portenko		W
オオメダイチドリ <i>Charadrius leschenaultii</i>	Lesson		T
ムナグロ <i>Pluvialis fulva</i>	(Gmelin)		W/T
タゲリ <i>Vanellus vanellus</i>	(Linnaeus)		W
1998年3月7日. 字南の牧草地. 9.			

シギ科 SCOLOPACIDAE

キヨウジョシギ <i>Arenaria interpres interpres</i> (Linnaeus)	T/W
トウネン <i>Calidris ruficollis</i> (Pallas)	T/W
ヒバリシギ <i>Calidris subminuta</i> (Middendorff)	T/W
オジロトウネン <i>Calidris temminckii</i> (Leisler)	W
アメリカウズラシギ <i>Calidris melanotos</i> (Vielot) *	W
1998年9月14日. 瓢箪池近く農耕地. 1.	
ウズラシギ <i>Calidris acuminata</i> (Horsfield)	W
ハマシギ <i>Calidris alpina sakhalina</i> (Vieillot)	T
エリマキシギ <i>Philomachus pugnax</i> (Linnaeus) *	T
1998年10月7日. 空港東側草地. 1.	
ツルシギ <i>Tringa erythropus</i> (Pallas) *	W
1998年3月6日. 在所南のため池. 1.	
アカアシシギ <i>Tringa totanus</i> (Linnaeus)	W
コアオアシシギ <i>Tringa stagnatilis</i> (Bechstein)	W
アオアシシギ <i>Tringa nebularia</i> (Gunnerus)	T
クサシギ <i>Tringa ochropus</i> Linnaeus	W
タカブシギ <i>Tringa glareola</i> Linnaeus	T
メリケンキアシシギ <i>Heteroscelus incanus</i> (Gmelin)	T/A
キアシシギ <i>Heteroscelus brevipes</i> (Vieillot)	T
イソシギ <i>Actitis hypoleucos</i> Linnaeus	T/W
ソリハシシギ <i>Xenus cinereus</i> (Guldenstadt) *	T
1998年9月14日. 瓢箪池近く農耕地. 1.	
オオソリハシシギ <i>Limosa lapponica baueri</i> (Naumann) *	W
1997年4月22日. 大池近く. 1.	
ダイシャクシギ <i>Numenius arquata orientalis</i> Brehm	T
ホウロクシギ <i>Numenius madagascariensis</i> (Linnaeus)	T
チュウシャクシギ <i>Numenius phaeopus variegatus</i> (Scopoli)	T
ヤマシギ <i>Scolopax rusticola</i> Linnaeus	W
タシギ <i>Gallinago gallinago gallinago</i> (Linnaeus)	W
ハリオシギ <i>Gallinago stenura</i> (Bonaparte) (4)	W
チュウジシギ <i>Gallinago megala</i> Swinhoe	W
オオジシギ <i>Gallinago hardwickii</i> (Gray)	W

セイタカシギ科 RECURVIROSTRIDAE

セイタカシギ *Himantopus himantopus himantopus* (Linnaeus) T/W  
1998年9月14日. 新東の農業用ダム (山下家近く). 6.

ツバメチドリ科 GLAREOLIDAE

ツバメチドリ *Glareola maldivarum* Forster ※ T/W  
1997年4月21日. 新空港. 1. 1997年4月21日. 旧空港東側農地. 3

カモメ科 LARIDAE

ユリカモメ *Larus ridibundus* Linnaeus ※ W  
1998年10月4日. 北港. 1.  
セグロカモメ *Larus argentatus vegae* Palmen W  
ウミネコ *Larus crassirostris* (Vieillot) W  
ハジロクロハラアジサシ *Chlidonias leucopterus* (Temminck) T  
クロハラアジサシ *Chlidonias hybridus javanicus* (Palls) ※ T  
オオアジサシ *Thalasseus bergii cristatus* (Lichtenstein) S (B)  
セグロアジサシ *Sterna fuscata nubilosa* Sparrman S/A ?

ハト目 COLUMBIFORMES

ハト科 COLUMBIDAE

リュウキュウカラスバト *Columba jouyi* (Stejneger) R (EX) (B)  
リュウキュウキジバト *Streptopelia orientalis stimposoni* R (移入?)  
(Stejneger)

1995年12月17日. 西水門近く. 1.

キンバト *Chalcophaps indica yamashinai* Hachisuka A/R ?

カッコウ目 CUCULIFORMES

カッコウ科 CUCULIDAE

ジュウイチ *Cuculus fugax hyperythrus* Gould A  
カッコウ *Cuculus canorus telephonus* Heine A  
ツツドリ *Cuculus saturatus horsfieldi* Moore A

フクロウ目 STRIGIFORMES

フクロウ科 STRIGIDAE

ダイトウコノハズク *Otus elegans interpositus* Kuroda R

チョウセンアオバズク *Ninox scutulata macroptero* Blasius A

アオバズク *Ninox scutulata japonica* (Temminck & Schlegel) R

1998年12月. フロンティアロード (保護). 1.

ヨタカ目 CAPRIMULGIFORMES

ヨタカ科 CAPRIMULGIDAE

ヨタカ *Caprimulgus indicus jotaka* Temminck & Schlegel W

アマツバメ目 APODIFORMES

アマツバメ科 APODIDAE

ハリオアマツバメ *Hirundapus caudacutus caudacutus* (Latham) T

ヒメアマツバメ *Apus affinis subfurcatus* (Blyth) T

アマツバメ *Apus pacificus kurodae* (Domaniewski) (5) T

ブッポウソウ目 CORACIIFORMES

カワセミ科 ALCEDINIDAE

アカショウビン *Halcyon coromanda major* ※ S/T

(Temminck & Schlegel)

1998年9月 日. 保護. 1.

カワセミ *Alcedo atthis bengalensis* (Linnnaeus) R

ヤツガシラ科 UPUPIDAE

ヤツガシラ *Upupa epops saturata* Lonnberg A

1998年9月24日. 空港周辺の草地. 1.

スズメ目 PASSERIFORMES

ツバメ科 HIRUNDINIDAE

ツバメ *Hirundo rustica gutturalis* Linnnaeus W

リュウキュウツバメ *Hirundo tahitica namiyei* (Stejneger) R (D)

イワツバメ *Delichon urbica dasypus* (Linnnaeus) W/T

1997年4月20日. キャンプ場. 10羽以上.

セキレイ科 MOTACILIDAE

イワミセキレイ <i>Dendronanthus indicus</i> (Gmelin)	A
ツメナガセキレイ <i>Motacilla flava taiwana</i> (Swinhoe) ※	T
1998年9月28日. 宇南の草地. 100.	
キセキレイ <i>Motacilla cinerea robusta</i> (Brehm)	W
ハクセキレイ <i>Motacilla alba lugens</i> Gloger	W
ホオジロハクセキレイ <i>Motacilla alba leucopsis</i> Gould ※	W
1991年11月18日. 役場近くの国民運動場. 1.	
マミジロタヒバリ <i>Anthus novaeseelandiae sinensis</i> (Bonaparte)	W
1998年3月7日. 空港西側草地. 3.	
ピンズイ <i>Anthus hodgsoni hodgsoni</i> Hodgson Richmond	W
ムネアカタヒバリ <i>Anthus cervinus</i> Pallas	W

サンショウウクイ科 CAMPEPHAGIDAE

サンショウウクイ <i>Pericrocotus divaricatus divaricatus</i> (Raffles)	W
--	---

ヒヨドリ科 PYCNONTIDAE

ダイトウヒヨドリ <i>Hypsipetes amaurotis borodinonis</i> (Temminck)	R (B)
---	-------

モズ科 LANIIDAE

シマアカモズ <i>Lanius cristatus lucionensis</i> Linnaeus	W
モズ <i>Lanius bucephalus bucephalus</i> Temminck & Schlegel	R (B)

ミソサザイ科 TROGLODYTIDAE

ダイトウミソサザイ <i>Troglodytes troglodytes orii</i> Yamashina	R (EX)
---	--------

ツグミ科 TURDINAE

ノゴマ <i>Luscinia calliope</i> (Pallas)	W
ルリビタキ <i>Tarsiger cyanurus cyanurus</i> (Pallas)	W
ジョウビタキ <i>Phoenicurus auroreus auroreus</i> (Pallas)	W
イソヒヨドリ <i>Monticola solitarius philippensis</i> (Muller)	R
トラツグミ <i>Zoothera dauma aurea</i> (Holandre)	W

1999年2月12日. フロンティアロード. 3.

シロハラ <i>Turdus pallidus</i> Gmelin	W
アカハラ <i>Turdus chrysolaus</i> Temminck ※	W
1998年3月8日. 国標近くの海岸林. 20.	
ツグミ <i>Turdus naumanni eumomus</i> Temminck	W

ウグイス科 SYLVIINAE

ダイトウウグイス <i>Cettia diphone restrictus</i> (Kuroda)	R (EX)
リュウキュウウグイス <i>Cettia diphone riukiuensis</i> (Kuroda)	R?/W?
オオヨシキリ <i>Acrocephalus arundinaceus orientalis</i> (Temminck & Schlegel)	W
ムジセッカ <i>Phylloscopus fuscatus fuscatus</i> (Blyth) ※	W
1991年11月18日. 大東神社近く水路. 1.	
キマユムシクイ <i>Phylloscopus inornatus inornatus</i> (Blyth) ※	W
1998年3月6日. 大東神社. 2.	
メボソムシクイ <i>Phylloscopus borealis xanthodryas</i> (Swinhoe)	W
キクイタダキ <i>Regulus regulus japonensis</i> Blakiston	W

ヒタキ科 MUSSICAPINE

キビタキ <i>Ficedula narcissina narcissina</i> (Temminck)	W
オオルリ <i>Cyanoptila cyanomelana cyanomelana</i> (Temminck)	W
サメビタキ <i>Muscicapa sibirica sibirica</i> Gmelin	W
エゾビタキ <i>Muscicapa griseisticta</i> (Swinhoe)	W
1995年12月18日. 新東. 1.	
コサメビタキ <i>Muscicapa dauurica dauurica</i> Pallas	W

シジュウカラ科 PARIDAE

ダイトウヤマガラ <i>Parus varius orii</i> Kuroda	R (EX)
--	--------

メジロ科 ZOSTEROPIDAE

ダイトウメジロ <i>Zosterops japonicus daitoensis</i>	R (B)
---	-------

ホオジロ科 EMBERIZIDAE

アオジ <i>Emberiza spodocaephala personata</i> Temminck	W
--	---

アトリ科 FRINGILLIDAE

アトリ <i>Fringilla nontifringilla</i>	Linnaeus	W
イカル <i>Eophona parsomata parsonata</i>	Temminck & Schlegel	W
シメ <i>Coccothraustes coccothraustes japonicus</i>		W

Temminck & Schlegel

ハタオリドリ科 PLOCEIDAE

スズメ <i>Passer montanus saturatus</i>	Stejneger	R (B)
--------------------------------------	-----------	-------

ムクドリ科 STURNIDAE

コムクドリ <i>Sturnus philippensis</i> (Forster)	W	
ホシムクドリ <i>Sturnus vulgaris poltaratskyi</i> Finsch	W	
1991年11月18日、空港、11.		
ムクドリ <i>Sturnus cineraceus</i> Temminck	W	

カラス科 CORVIDAE

ミヤマガラス <i>Corvus frugilegus pastinatar</i> Gould	W	
ハシブトガラス <i>Corvus macrorhynchos Japonensis</i> (Bonaparte)	R (EX)	

凡例：1、種名の扱いと配列は、日本鳥学会目録編集委員会編（1997）にしたがった。

2、生息状況はR：留鳥、S：夏鳥、T：旅鳥、W：冬鳥、A：迷鳥、絶滅：EX  
とし、その種別は概ね琉球新報社編（1983）及び大沢・大沢（1997）などにした  
がつた。

3、本目録は大沢・大沢（1995）及び大沢・大沢（1997）の目録を基本にして、そ  
の後確認された種を追加して作成した。

4、確認記録の順序は、日付、確認場所、個体数等とした。

5、(1)はMcWhirter et al (1996), (2)はMark (1991), (3)は沖縄県野鳥研究会  
(1986), (4)は清棲 (1978)、(5)は大沢・大沢 (1997)、(6)はBirder 編集部  
(1997)の記録を引用。

6、※印は、今回の調査で新たに確認された鳥類。

7、(B)は繁殖が確認された種。

8.(D)は漂鳥と思われる種。